



日本の国立公園と世界遺産を活かした地域活性化推進費

平成28年度要求額
494百万円 (617百万円)

背景・目的

日本には世界の人々を魅了する豊かな自然が多数存在

国立公園等の**自然や自然に根ざした地域の文化**は、観光資源等として極めて高い価値を有している。

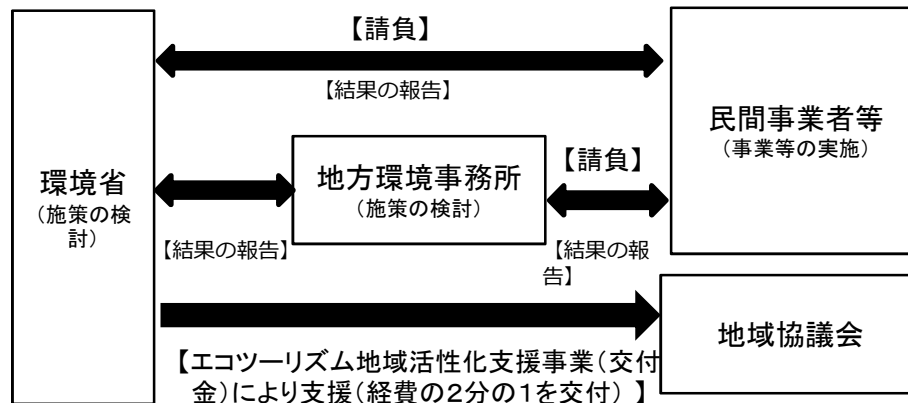
日本の自然を活かし、国内外から多くの観光客を呼び込み、地域を活性化。

事業目的・概要等

事業概要

- ①エコツーリズム、ジオパーク、ボランティア体制等における地域連携の強化と運営管理の抜本的向上
- ②子どもの自然体験活動の推進体制強化
- ③国立公園等における質の高い保護管理

事業スキーム



期待される効果

国立公園等の自然資源を保全し、これを活かした地域づくりに寄与することで、地方経済の活性化や地方の雇用機会を創出する。

イメージ

① 国立公園等地域活性化促進連携事業

エコツーリズムの推進、ジオパークとの連携、ボランティア体制強化や協働型管理運営体制の確立により、国立公園を有する地域との連携強化や地域と協働した管理運営体制の構築を図る。

- ・国立公園協働型管理運営体制強化事業
- ・ジオパークと連携した地形・地質の保全・活用推進事業
- ・エコツーリズムを通じた地域の魅力向上事業 等



② 国立公園等における子どもの自然体験活動推進事業

国立公園等において、子どもの自然体験活動の推進体制及び受入体制を強化。

- ・自然体験プログラム先進事例や事故事例等を題材とした研修
- ・安全対策マニュアルの改訂 等



③ 日本の国立公園・世界自然遺産保護管理強化事業

貴重な自然環境を有する国立公園及び世界遺産の地域において、その魅力を損なうことなく、保護と両立した利用を促進するよう、質の高い保護管理を実施。

- ・遺産地域等貴重な自然環境保全推進事業 等

